

## 新庁舎建設に向けた決意



そのため、今年度、基本構想策定を終え、基本計画、基本設計及び所定の法手続等を丁寧かつ迅速、着実に進める。

毎日通信確認を行い、点検をしている。しかし、大雨時に室内では聞こえにくいという弱点があることから、情報伝達の多様化を図り、一つの方法が利用できずとも、他の方法で伝達ができるよう取り組んでおり、様々な伝達手段を市民に周知することが重要と考えている。

毎日の試験放送については、既に取り組んでいる他自治体の状況を調査し、屋外拡声器を設置している施設管理者、地域等の意見を伺っていく。



### まちなか再生未来ビジョン

**問** 官民連携まちなか再生推進プラットフォームからの提言である大牟田まちなか再生未来ビジョンについて、今後どのように取り組むのか。

**答** 今後20年を目標としたまちなかの魅力創出及び活力の維持・向上のため、公・民・学で共有するエリアの将来像とその実現のための取組指針として提言されたもの。将来像の実現に向け、関係団体と十分に連携し、まちなかの再生・活性化に取り組む。

### 新庁舎基本構想策定

**問** 新庁舎整備に向けた市長の決意は。

**答** 全国的に地震や水害などの大規模災害が頻発していることから、災害対策の拠点となる庁舎の重要性を改めて認識している。

また、昨今の建設資材の高騰や人材不足により、整備費用の上昇は今後も継続することが想定されることから、新庁舎整備は早急に進めたい。

### ライティングによるまちづくり

**問** 帝京大学より、大牟田駅西口から学校までの街路灯設置の要望を受け、ライティングを生かした魅力的な街路灯を設置すべきと考えるが。

**答** 岬町地区は、イオンモール大牟田、諏訪公園や石炭産業科学館等が立地し、有明海沿岸道路によるアクセスの良さから、広域的に人が集い、交流するエリアとなっている。

また、令和7年冬には、ルートインホテルが進出するなど、今後さらなる地域経済活性化の核となることが期待される。

このため、要望については、まちの魅力向上の観点も盛り込みながら、街路灯の整備に向けた取組を進めたい。

### 災害に強いまちづくり

**問** 他自治体では、防災行政無線の機器点検や試験放送を兼ねて、定時のサイレンや音楽を放送している。本市でも同様の取組が必要ではないか。

**答** 防災行政無線の動作は、

### 三池港の利用促進

**問** 次期コンテナ船の航路は、現在より深い水深が必要となるようだが、水深確保の対応が早期に必要なではないか。

**答** 船社から、現在の船は令和10年に廃船予定であり、次期コンテナ船は大型化されることから、より深い水深が必要と説明を受けている。

水深確保には、現在の浚渫事業を加速する必要がある、福岡県とともに、国に事業の促進を強く要望したい。

**再発言** 福岡県とともに、国への要望をお願いする。